■質問２（令和元年９月６日掲載）

●問（１）
参加資格について、県外の業者と県内の業者で、どのような差がどの程度あるのか。
●答（１）
県内事業者への優先発注に配慮することとしており、「審査要領」において、別添「審査基準」を定めて、「審査項目」の「３．実施体制」のなかで、「②県内事業者であるか」を「審査の視点」とすることを示している。
この項目について、総合点数２００点のうち、１０点を配点している。

●問（２）
現地説明会への参加事業者数はいくらか。
●答（２）
５者が参加した。

●問（３）
地下倉庫の改修範囲は現地説明会で入った奥の倉庫だけか。
●答（３）
「現場からの要望について」説明する資料として、現地説明会で配付した資料７～８頁の「１４．地下倉庫」において、改修の範囲を説明しているとおり、地下の倉庫の改修範囲としては、現地説明会で案内した、倉庫内の通路部分と奥の倉庫部分であり、手前の倉庫部分については、特に、要望していない。

●問（４）
本件はプロポーザルですが、図面による提案をしてもよろしいでしょうか。
●答（４）
企画提案書の「作成要領」の１頁「１．提出書類」で示すとおり、企画提案内容は、「１．リニューアルの概要と考え方」、「２．企画提案による効果」等の提出資料に盛り込み、Ａ４サイズの書類により提出することとしている。
こうした提出資料では、提案内容を説明する表現手法として、スケッチや完成予想図・パース図・設計図・レイアウト図など、企画提案する内容が、具体的にイメージできるものでの提出を期待している。
なお、現地説明会で言及したとおり、「企画提案に要する全ての費用は、参加者の負担」のなかで、プロポーザルの提案を募集していることから、参加者の過度な負担となる「模型」などの作成は求めていない。

●問（５）

見積りの内訳は、どこまで必要か。

●答（５）

今回の改装の主たる要素は、「シビックプライド」を感じさせる施設となるかどうかであり、それに伴い、店舗の改装、商品棚や在庫スペースの増設・改装などを実施することとしており、これらは審査項目として重要な内容となるため、その内訳となる主要項目ごとに、概算額を示していただきたい。

なお、主要項目の概算額においては、その内訳（各材料の名称・単価・使用量・所要額のような詳細な積算）は記載を求めていない。

また、「現場からの要望」のうち、提案者の取捨選択の結果として、次の①～③で示した設備・備品等が、どの程度、見積に盛り込まれたか明示することが望ましい。

① 店舗等　（下線の項目は、優先度の高い整備項目）

天神社側出入口での棚の新設、同所での遮光対策の実施、駐車場出入口のドアの交換、天神社側・駐車場側の両出入口の浸水対策の実施、店舗内音響設備の更新（マイクは新設）、オープンフロア型冷蔵庫へ一部更新、来店者計測機器システムの更新、インカム設備の導入、セキュリティシステムの設備更新（地下カメラの追加含む）

② 事務室等　（下線の項目は、優先度の高い整備項目）

書庫・事務用品の収納庫の増設、写真撮影設備の新設

③ 地下倉庫　（下線の項目は、優先度の高い整備項目）

通路部分での棚の新設、防湿・吸湿シートの新設、スライド式書庫の新設

●問（６）

審査委員会のメンバー構成を教示されたい。

●答（６）

審査委員会は、協会関係者８名と有識者２名で構成する。

●問（７）

現在陳列されている商品は1,800～2,000との説明であったが、その内訳はＰＯＳ商品登録数と同じ割合と考えてよいか。

●答（７）

「現在陳列している全商品アイテム総数（1,800～2,000）」に占める「実際に陳列している商品区分ごとの商品アイテム」の比率と、「ＰＯＳ登録した商品アイテム総数（5,887）」に占める「ＰＯＳ登録した商品区分ごとの商品アイテム」の比率は、必ずしも一致しない。

●問（８）

企画提案書作成要領について伺いたい。

●（問ア）　３頁の⑦にある「協会員によるワークショップ」「体験型の催しスペース」について、内容、規模（人数）、回数（月に何回）を教示されたい。

●（答ア）　店内のワークショップについて、詳細は未定だが、イメージを例示すると次のとおり。内容は、菓子づくり・竹人形づくり・新商品試食会など。規模は、５人～１０人まで。回数は、多くて月に１～２回程度。

　なお、配置案のイメージとしては、①休憩スペース（現在は店舗奥のベンチコーナー）との兼用、②店舗外のエントランスホールが考えられる。それぞれ課題があり、①は和田の屋を利用する顧客との兼ね合い、②はエントランスホールを管理する阿波おどり会館管理者との兼ね合い、を整理する必要がある。

●（問イ）　３頁の⑩のサインは、デザイナーでなく設計・施工者がデザインするのか。

●（答イ）　提案においては、自由な発想のもと、プロポーザル参加者がサインのデザインや内容等を提案していただきたい。

●（問ウ）　現地説明会で示された「ご要望リスト」（「現場からの要望」）をすべて実現させると、見積限度額の 30,000 千円を上回る可能性があるが、優先するのは見積限度額でよいか。

●（答ウ）　「現場からの要望」は、店舗の効率化・高機能化などの観点から職員が要望する内容をとりまとめたものである。できる限り実現していただきたいが、要望内容を具体的に見積って限度額の範囲で全て実現できるものか検証したものではない。

　つまり、プロポーザル参加者においては、募集要項や現地説明会等で見聞きした店舗の課題や要望に対して、「シビックプライド」をコンセプトとした施設に生まれ変わるよう、要望内容にも配慮しつつ、参加者の知見を生かしながら優先すべき項目を取捨選択して、総合的な判断として、提案内容をとりまとめ、見積限度額の範囲において、提案していただきたい。